

2020年2月26日

釧路総合振興局

保健環境部長 高垣 正計 殿

日本共産党釧路市議会議員団

団長 村上 和繁

## 新型コロナウイルス対策に関する緊急申し入れ

2月23日に、釧路市でも新型コロナウイルス感染者が発生し、市民の不安が高まっている。

政府は今後の新型コロナウイルスに関する対応について、新しい基本方針を25日に決定した。「国内の複数地域で感染経路が明らかでない患者が散発的に発生し、一部地域では小規模な集団感染が把握されている」と現状を述べ、感染防止策を講じて可能な限り患者の発生を抑制すること、発熱や風邪の症状がある場合には休暇を取得すること、患者数が増加した地域では、必要な医療体制の確保と軽症者の自宅での静養などを奨励している。

釧路地域での感染者の拡大は予断を許さない。引き続き、感染防止策を徹底し、患者が発症したとしても早期に治療し、絶対に重篤化させないことを、対応策の中心に据えるべき時に来ている。

よって、釧路保健所においては、下記の点に早急に取り組みされることを強く要望する。

記

### 1、早急な検査体制の充実

・新型コロナウイルスの検査体制は依然として不十分である。本格的な流行期に入れば、現行の検査体制では全く追いつかない。必要な検査体制を一刻も早く整備すること。

・釧路管内でも検査できる体制の整備を検討していただきたい。

### 2、感染病床をはじめとした治療体制の確保

・市立釧路総合病院の感染病床は4床しかなく、これを超えて入院患者が発生する可能性がある。市立釧路総合病院の感染病床がいっぱいになった時に備えて、必要な病床数を確保しておくこと。

・入院患者の発生に備え、あらかじめ病床を空けておく必要があることから、病床を提供する医療機関に対して支援策を講じること。

・一定の地域で多くの患者が発生することも考えられる。そうした場合には、現行の医師・医療体制では対応できない。他の圏域からの医師・医療スタッフが応援に入れるよう、万全の対策を今から講じておくこと。

### 3、医療従事者の感染防止策と院内感染の防止

・新型コロナウイルスの治療にあたる医師、医療スタッフが、新型コロナウイルスに院内感染することは絶対に避けなければならない。十分な感染防止策を講じること。

・外来患者、入院患者への院内感染の防止策を徹底すること。

### 4、学校、介護施設などでの集団感染の防止策を徹底すること。

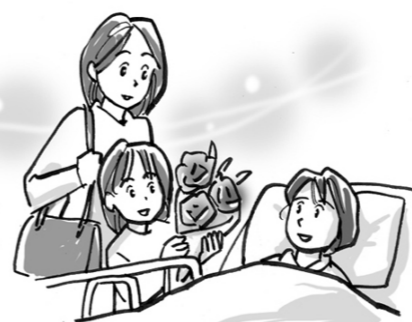
5、過度な不安を招くことのないよう、正確な情報公開に努めること。

以上

それにしてもクルーズ船の集団感染は、政府の対応に問題があったんじゃないの。



「こうした事態を受けて、26日に日本共産党市議会議員団が、急遽、対応の中心を担っている釧路保健所に、左のような申し入れを行いました。保健所への申し入れの文書を取りまとめた村上かずしげ議員は、「2月議会の代表質問でも、新型コロナウイルスの問題を取り上げます。感染防止策とともに、釧路市に特に求められているのは、感染症の対応可能な病床のことです。釧路管内では市立病院の4床しかありません。新型コロナウイルスの患者の入院施設の役割は、市立病院以外には担えません。病床の拡大を第一に進めるべきです。」と語っています。



2月23日、釧路市において新型コロナウイルスの感染者が出ました。18日に38度の熱と咳症状があり、20日には40度を超える高熱が出ました。3か所の医療機関を受診、道立衛生研究所の検査で、陽性と診断されました。その前日には、根室市でも患者が発生しています。

# 新型コロナウイルスの問題で 共産党議員団が釧路保健所へ申し入れ

村上かずしげ通信 20.03.01

発行 日本共産党市議会 23-5212